

3年半で172人の想い掲載

日本女性技術者フォーラム(JWEF)に企画協力の打診をいただいたのは2013年春。はたらくこといきること、理工系女性の想い(現・凛としていきる、理系女性の挑戦)のタイトルで連載をスタートして3年半、172人の女性技術者・研究者の姿に光を当ててきた。多様な選択肢に迷いながら積極的の道を選び、今を真剣に生きる彼女たちの物語はいつも新鮮だ。一人一人の魅力がより伝わるように、内容を毎回かみしめながら、つやとりを重ねた。

凛としていきる

理系女性の挑戦

女性技術者の追い風に



ワークシフトやライフシフト、働き方が変わる時代と言われる。この数年間に女性活躍推進法も成立しリケジヨを採用したい企業も増えた。しかしジェンダーギャップ指数の国際順位はむしろ低下。

ワークシフトやライフシフト、働き方が変わる時代と言われる。この数年間に女性活躍推進法も成立しリケジヨを採用したい企業も増えた。しかしジェンダーギャップ指数の国際順位はむしろ低下。

教育予算の少なさやグローバル化の遅れ、さらには日本の科学研究失速が指摘される現状に危機感を抱く。

新しい花を咲かせたいと奮闘中だ。JWEFメンター部会長として女性技術者の後押しも続けている。今年には全国から10人が集まる女子中高生向け理系選択支援事業「夏の学校」の実行委員長も務める。ぜひ皆さんのご協力・ご支援をお願いしたい。

組織に頼らない生活は、自由である反面、地に足がついていないような、時に孤独で自信を失いそうになる毎日との戦いだ。それでもマーケティングの勉強経験を背景に「ハピ

私自身は一人のキヤリア形成の追い風になりたい」「もっと技術と社会をつなぐたい」と、2年前から個人で事業を始めた。アリーリタイア気分も楽しみつつ、最新技術も活用した次世代向けの教材開発などを模索

し、新しい花を咲かせたいと奮闘中だ。JWEFメンター部会長として女性技術者の後押しも続けている。今年には全国から10人が集まる女子中高生向け理系選択支援事業「夏の学校」の実行委員長も務める。ぜひ皆さんのご協力・ご支援をお願いしたい。

組織に頼らない生活は、自由である反面、地に足がついていないような、時に孤独で自信を失いそうになる毎日との戦いだ。それでもマーケティングの勉強経験を背景に「ハピ

たリケジヨがメジャーになる。当たり前になる。当たり前になる。仕事も家庭も趣味も楽しめる。そんな日の実現のため、勇気を持って歩み続けたい。

(おわり)

▽ BMDesign 研究所/JWEFメンター部会長 永合 由美子

△

△ プロフィール▽ 86年 東大院工学系化学工学修士修了、同年ライオン入社。10-15年東大工学系広報室勤務。15年BMDesign研究所設立。

